

## 2 訪問概要

### (1) 大連市人民政府

項目	詳細
訪問日時	平成 23 年 10 月 31 日(月)15:15～16:15
概 要	<p>●曹 愛華副市長挨拶要旨</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大連市と上越市は長い間、友好関係を保っており、頻繁に親善活動を行っている。</li><li>・1998 年直江津港と大連港間において定期コンテナ航路が開設された。</li><li>・中国全域の最上位計画である第 12 次 5 カ年計画に基づき、大連市は全域で都市化を目指すこととしている。</li><li>・大連市の後背地である北方地域の発展は直接的に大連市の発展につながる。</li><li>・第 12 次 5 カ年計画では、2,000 平方キロメートルの発展計画を打ち出している。</li><li>・例えば、沿海経済地域(6 都市 42 パーク)のうち、大連市内には 19 のパークを計画している。</li><li>・大連市は中国国内に 15 ある副省レベル都市のうちの 1 つであり、ほとんど省レベルの権限を持っている。</li><li>・東日本大震災後、多くの日本企業が視察に来市。(北東アジア、中国全域、東北部を最重要視していると推察)</li><li>・日本と気候が酷似していることも要因の一つではないかと理解している。</li><li>・上越市と継続的に実質的な話をしていくことを期待し、一つでも交流の成果をあげたい。</li><li>・大連経済技術開発区を視察してほしい。</li><li>・大連市は、日本を国際交流の最大のパートナーとして見ている。</li><li>・高 連港湾局長は現在日本の港湾との交流についての考え方を整理している。</li></ul> <p>●市長挨拶後の曹 愛華副市長コメント</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市長の話聞き、上越市に行きたいと思った。</li><li>・旅順口区のほかの地域も、日本文化に馴染んだ地域が多い。次回来市の際には是非ゆっくと訪問してほしい。</li></ul>